

図書館事業の推進について

村上市では、中央図書館のほか荒川、神林、朝日、山北の4地区に地区図書室（館）を配置し、「全域で、誰もが、均等な図書館のサービスを受けることのできる図書館」を目指して各種の図書館事業を展開しています。

また、平成28年3月に策定した第1次村上市子ども読書活動推進計画に基づき、学校や地域などと連携した子どもの読書環境の整備も推進しています。

1 村上市図書館の現況（H31年3月末の施設現況及びH30年度の利用実績等）

	中央図書館	荒川図書室	神林図書室	朝日図書館	山北図書室
延床面積	1,262 m ²	102 m ²	47.9 m ²	504 m ²	44.4 m ²
蔵書数	167,107 冊	7,355 冊	4,362 冊	33,498 冊	7,494 冊
利用者数	41,377 人	2,168 人	1,066 人	3,014 人	1,174 人
貸出数	130,003 冊	6,361 冊	3,375 冊	9,040 冊	3,131 冊
職員配置	職員3人 臨時5人 パート4人	職員1人 (兼任)	職員1人 (兼任)	臨時2人	臨時1人 (兼任)
利用者開 放用端末	《中央図書館》 ○蔵書検索機4台 ○セルフ貸出機1台 ○インターネット開放端末3台		《地区館・分室》 ○蔵書検索機 各地区1台 ○セルフ貸出機 各地区1台		

2 主な図書館事業の実施状況

(1) 図書館ネットワーク等事業

① ネットワークシステムを活用した図書サービス

中央図書館と地区図書室（館）及び圏域図書館（関川村、粟島浦村）をネットワークで結び、共通図書館カードによる資料の貸出や郡市内図書館の資料検索を実現しています。

② ホームページによる情報提供とインターネットサービスの実施

自宅からでも図書館蔵書の検索や予約ができ、また自身の貸出状況を確認できるようにすることで、利用者の利便性の向上を図っています。

③ 団体貸出の実施

登録団体への定期貸出（長期：100冊/年、短期：30冊/月）を実施し、資料の有効活用と読書活動の推進を図っています。

④ 相互貸借の実施

他自治体間での所蔵資料の相互貸借を行い、利用者の利便性向上を図っています。

(2) 移動図書館サービス事業

図書館から遠隔にある集落へ移動図書館車2台で土曜日・日曜日に巡回を行いながら図書の貸出を実施しています。

ステーション数は118箇所、8コース（1コース15箇所程度）を設定して巡回しています。（1ステーションを年間22回訪問：H30年度）

車内には子供向けの絵本や紙芝居、読み物・図鑑のほか、大人向けの小説や実用書、また、大活字本や朗読CD等ハンディキャップ資料など多岐に亘る資料を積載しています。（約1,500冊の本を積載して訪問します。）

なお、利用者が読みたい本が車に積載されていないときは、予約を受け、次回の巡回時に持って行きます。

運行時刻表を巡回集落へ全戸配布して周知を行っていますが、車が到着するのをステーションで待ってくださっている高齢者や子どもたちも見られます。

《移動図書館車の利用実績（H30年度）》

	村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区	関川村	合計
利用者数	267	313	614	320	429	322	2,265
貸出冊数	943	1,134	2,418	1,131	1,721	1,050	8,397
ステーション数	10	16	21	25	23	23	118

(3) 子ども読書活動推進事業

①第1次村上市子ども読書活動推進計画の策定（H28年度～H32年度）

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき第1次計画を策定し、子どもたちが自主的に読書活動を行うことができるよう家庭、地域、学校などが連携した施策を計画しました。

②子ども読書活動推進計画に基づく具体的な取り組み

○学校支援

- ・要請により学校を訪問し、読み聞かせやブックトークを実施
- ・図書館見学や職場体験の受け入れ
- ・学校図書館運営相談会の実施

○子育て支援

- ・郡市内7箇所の子育て支援センターへ定期的を選書した本の貸出するほか、職員が訪問し、乳幼児への読み聞かせと保護者への絵本選びアドバイスなどを行っています。

○その他

- ・ボランティアグループ等による読み聞かせや読書につながるイベントの開催により、本に親しみ、来館する機会の創出に努めています。
- ・発達段階に合せたブックリストを作成して、読書支援を行っています。

(4) 図書館利用促進事業

①館内には本の紹介コーナーを複数箇所設置して読書支援を行うほか、調査相談（レファレンス）を実施して住民の調査研究を支援しています。

②「としょかんサポーター」や読み聞かせグループに図書館で活動していただくことで、地域社会へ貢献しようとする市民との協働と学習成果発表の機会創出、開かれた図書館づくりに努めています。

③毎月「図書館通信」を発行して、本や図書館イベントの情報提供に努めています。

3 図書館事業の課題及び今後の取り組み計画

(1) 移動図書館車サービス事業について

移動図書館車が老朽化してきています。現状での継続だけでなく、巡回方法や車両の見直しなども含め、今後検討をしていくこととしています。

(2) 第2次子ども読書活動推進計画の策定

令和2年度が第1次計画の最終年度となるため、今年度から策定委員の選考や策定スケジュール等の検討を行うと共に、第1次計画における取り組みの検証に着手することとしています。

(3) 資料の保存について

保存期間の長い新聞や永年保存である郷土資料など、保存資料が年々増加傾向にあり、資料の保存場所が不足している現状にあります。

新たな保存場所の確保の検討と共に、新たな保存方法の調査・検討を行う必要があると考えています。

(4) 施設及び職員体制について

将来にわたって図書館事業を推進していくにあたっては、将来に向けた施設の維持管理と共に、施設のあり方も考える必要があります。事業の推進と併せて今後の図書館事業のあり方を検討していく必要があります。

また、よりよい事業展開とサービス向上のためには司書資格者の確保がますます重要になってくることから計画的な配置が望まれます。